

## 主催者挨拶

安田弘法

みなさん、おはようございます。先程ご紹介いただきました、山形大学の理事・副学長の安田でございます。私事で恐縮ですが、私は山形の庄内地方という日本海に面したところに住んでおります。庄内地方は、冬の前にシベリアから白鳥が一群の群れをなして来て、落穂を拾い越冬してシベリアに帰ります。今日、庄内空港発の白鳥のようなANA 1便で羽田に着きました。

本日のAPキックオフシンポジウム、さらにはEMIR勉強会の主催者を代表しまして、一言ご挨拶させていただきます。本日は、足元の悪い中、またお忙しいところ、このシンポジウム及び勉強会に多くの皆さんがお集まりいただき、誠に有難うございました。また、本日の基調講演の文科省、吉成様、さらには素晴らしい会場を使わせていただく共同開催の明治大学の皆さんに心からお礼申し上げます。さて、本日のシンポジウムと勉強会の目的は、学修成果の可視化、さらには大学教育の質の保証の強化に関して、多面的な情報及び意見交換を行うことです。

その国にどのような若者がいるのか。どのような志を持った若者がいるのか。さらに言えば、志の高い若者の数により、その国の将来が決定されると言っても過言ではありません。釈迦に説法ですが、今までも、今も、これからも、教育は国の礎です。その中で我々大学人に与えられた若人育成の使命は、特に大きいものがあると考えます。

山形大学について少し紹介させて下さい。山形大学は地域創生・次世代形成・多文化共生の3つを使命として教育・研究・社会貢献に尽力しています。この3つの使命の具現化のために、来年4月から教育改革をします。特に専門教育にさらに磨きをかけるとともに、プラスアルファの力として人間力の育成を掲げています。人間力、分かったようで分かりにくい言葉です。山形大学では、人間力とは、知育・徳育・体育の3つのバランスある力と定義し、そのような人間力を持つ若人を育成するために、教育プログラム改革を行います。

さて話は変わりますが、皆さん御存じのように「和をもって尊しとなす」の聖徳太子が、いくつかの教を述べておられます。そのうちの一つに縁の重要性を指摘された結縁という言葉があります。結ぶ縁と書いて結縁（けちえん）と読みます。本日多くの皆様がこの場にお集まりなのも縁だと思えます。お集まりの皆さんがお互いに良い縁を結んで、この会を楽しんでいただければ有難いと考えます。最後に、本日このような貴重なシンポジウムを企画してくれたみなさん、さらにはお集まりになった全てのみなさんに心から御礼を申し上げまして、御挨拶に代えさせていただきます。みなさん楽しんで下さい。私も楽しみたいと思えます。どうも有り難うございました。